

7月9日（火） お昼の放送 校長の話

みなさん、こんにちは。元気ですか！？元気があれば、1学期、今日も入れてあと8日、がんばれる。

ということで、今日も、ありがたい気持ちを持って、給食をいただいていることと思います。

さて、昨日のできごとですが、校長先生がとてもびっくりしたお話をさせていただきます。

毎日のように、くつのかかとを踏んで歩いている人、上履きのかかとを踏んでいる人、ましてや授業中でも上履きのかかとを踏んでいる人を見かけます。

見かけたら、もちろん注意します。放っておいたら「上履きのかかとを踏んでもいいですよ」と認めることになるから、注意します。当たり前です。

昨日、休憩時間に5年生の女子が右足だけ、上履きのかかとを踏んだまま廊下を歩いているのを見かけました。

校長先生は、「かかと、踏んどるよ」と声を掛けました。

さて、その5年生の女子は何と言ったのでしょうか。20秒ほど考えてください。（音楽）

その女子は、校長先生の「かかと、踏んどるよ」の注意に対して、なんと「ありがとうございます」と言って、すぐに上履きを正しくはきました。

おそらく、悪気はなく、片方だけかかとを踏んでしまっていたのだと思います。でも、校長先生は、注意をされて「ありがとうございます」という素直な受け答えが大変うれしく、そして感動しました。これまで、注意して、「すみませんでした」という受け答えはありましたが、初めてです。注意してお礼を言われたのは。この人は、自分がいけなかったところを注意してくれて、ありがたいという気持ちだったのでしょう。

何が言いたいかという、このように自分が、いけなかったところを認めて直すこと、これも本物の「素直さ」だということです。

注意をされたら、だいたい何も言わずに黙って直す人が多いです。中には、言い訳をしたり、不満そうな顔をしたりする人もいます。そういう人は、伸びません。

でも、本当に素直な人は、どんどん勉強もできるようになります。どんどん、伸びていきます。

何でも何も考えずに「はい、はい」と言う人が素直な人ではありません。自分がいけなかったところを認めて反省してがんばる人、みんなに、そのような素直な人になってほしいと思って、今日、急に放送しました。